

The Top Shelf

Gaidai Library News

第7号

特集 The Appealing UK



らいぶちゃん

イギリス—偉大な文書大国に学ぶ

イギリスは歴史と伝統の国と言われてきたが、種々の点で多様化や革新が進む今日、その社会は急激に変化しており、視角により多様な特徴を描き出せる。しかし、この国を学んで肌で感じるのは、この国が記録ないしは文書類の大国であるということである。これは地方当局、学校、各種団体等も同様であるが、特に政府関係の公文書の保存状況には驚嘆する。事柄により精粗はあるが、例えば法律や政策の決定手続きに関わった人々のごく私的なメモ書きに至るまで全てファイルに残されている。また文書によって異なるが、特殊なものを除き、指定された期間を過ぎると一般に開示される。こうした記録の存在は、イギリスが辿ってきた歴史を検証・評価する貴重な資料となっている。その意味からすればイギリスはなおも歴史と伝統を大切にする精神を引き継いでおり、改革が進む中でも、歴史的な成否を学び検証しつつ、時にブレークスルーを起こしている国ではないかと思う。

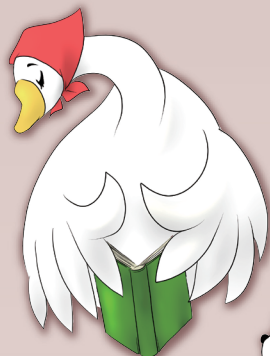
外国語学部教授 藤田弘之

長い伝統を受け継ぐ一方、最先端の文化も生み出し続けている国、イギリス。そんなイギリスについて皆さんはどんなイメージを持っていますか。本号の特集は「The Appealing UK」です。古くからの伝統、文化、歴史だけでなく、国際社会の中で変わり続けているイギリスのことを知ることは、きっと皆さんの興味を引きつけるものになるでしょう。読書を通じて、イギリスの魅力を是非見つけてみませんか。



らりーくん

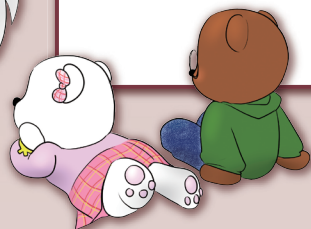
貴重書庫から



オーピー・コレクション

THE WORLD OF MOTHER GOOSE

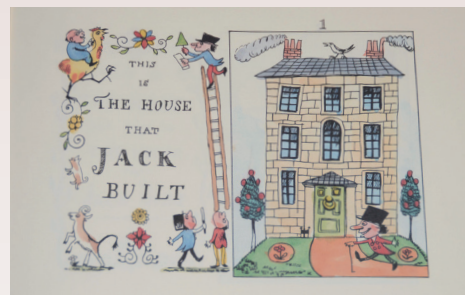
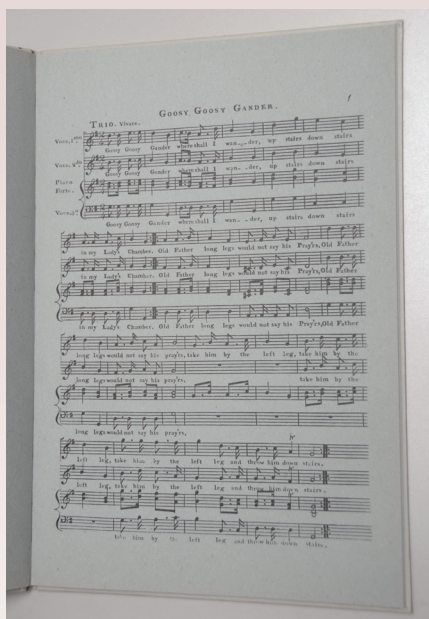
(複製『マザー・グースの世界』)



マザー・グースは、英語圏の国々で子どもたちに古くから伝承されてきた童謡の総称で、イギリスでは「ナーサリーライム(Nursery Rhymes)」とも呼ばれます。

「オーピー・コレクション」とは、マザー・グースなどの伝承童謡の研究者として知られるオーピー夫妻が1944年から収集を始めた2万点にも及ぶ児童書の蔵書です。夫ピーターの死後、この蔵書はオックスフォード大学ボードリアン図書館に寄贈されました。本学では、このコレクションの一部を複製し、1996年に出版された *The World of Mother Goose Part II* (複製『マザー・グースの世界』、ほるぷ出版) を所蔵しています。

現在中宮図書館1階では、このコレクションの中から、鷺鳥を主題にした典型的なマザー・グースの唄“Goosy, goosy, gander (がぁー、がぁー、鷺鳥さん)”の楽譜や、文章に後からどんどん文を足していく「積み上げうた」の代表例として知られる *The House that Jack Built* (『ジャックのたてた家』) などを展示しています。



Goosy, goosy, gander

(『クリスマスの贈り物—バガテル集』所収)

Kate Greenaway's Calendar for 1884

The House that Jack Built
(『ジャックのたてた家』)

平野敬一著 (1972) 『マザー・グースの唄—イギリスの伝承童謡』

800篇を超えると言われるマザー・グースの唄は、英語国民の生活感覚や言語感覚の機微を表し、現代英語にもよく引用されています。でたらめやナンセンス、残酷さに満ちた唄は英語国民の発想の原型と言えるでしょう。本書は、マザー・グースの成り立ちや「ロンドン・ブリッジ」「ハンブティ・ダンブティ」など代表的な唄の背景を解説し、その社会的役割も探っています。マザー・グースへの理解を深めることができる一冊です。

中央公論新社 (1972/1/25) ISBN-13 : 978-4121002754



K.G.U.'s Gentlemanly Ambassador of English Allure: Prof. Ralph Bosman

Can you please describe your personal and professional connections to England?

I was born and raised in Wimbledon until my education at Cambridge. I lived in England until the age of 22, when I moved to Japan, and still have two sisters there. My teaching includes two courses on British Studies, and I return to England once every two years to update the material for these courses.

If you were to pick a single book to understand English culture, what would you choose?

My favourite at the moment is an Oxford publication, *Britain for Learners of English* (2009). However, in teaching about England I generally prefer to write my own materials, updating whenever I can.

What is most alluring about England and English culture for you?

What I see as most alluring relates to cathedral cities, such as Norwich or Canterbury, and their culture. This includes the wonders of church bells, pubs, timber-framed houses, double-deck buses, country beer, and such. And, of course, I love the university cities of Oxford and Cambridge.

What do Japanese students generally misunderstand about England?

First the assertion that "the food is bad". In big industrial cities it's often bad, but the countryside is another story. Second is that "London is rainy". London gets about 600 mm of rain a year, whereas Japan can get more rain in a single typhoon. Third is that "England is London". When students discover that there is countryside in England, they gasp with surprise.

Ralph Bosman

Born: Wimbledon, England

Education: BA and MA, St. Catharine's College, Cambridge University

Position: Professor, School of Foreign Studies



キャンパス移転に伴う図書整理作業：学研都市

学研都市キャンパス図書館では御殿山キャンパスへの移転に伴う図書整理作業を行いました。図書館学術情報センター運営委員と図書館職員(丸善)が総動員で7月の3日間に第2弾となる図書整理作業を行いました。その結果、欧文書、中文書などを含む総計約19万冊の選書が終了しました。また、今回は外国人教員(同運営委員)を中心に英文Japanologyの選書作業も行いました。



図書館からのお知らせ

🌸 ラーニング・コモンズ：中宮

昨年4月、中宮図書館2・3階に新設されたラーニング・コモンズの利用度が一段と増えています。混雑時には、グループ学習室が全室利用され、オープンスペースでは空席がなくなるほどです。貸出用PCも人気が高く、フル稼働となる日も少なくありません。利用には予約システムへの登録が必要で、登録するとスマホからの利用予約も可能です。まず、図書館3階のラーニング・コモンズ受付カウンターで登録手続きをしてください。



🌸 英語多読で読解力をつけよう：中宮

中宮図書館1階には「英語多読図書コーナー」があります。レベル別に分けられた短大生向けのコーナーもあり、伝記や小説、絵本、ガイドブック、マンガなど様々な分野の英語で書かれた図書がたくさん揃っています。ぜひご利用ください。

🌸 ビブリオバトル：学研都市

学研都市キャンパス図書館では、今年もビブリオバトル(書評合戦)を開催します。ビブリオバトルは、書評者がお薦めの一冊を持ち寄ってその本の良さをプレゼンテーションし、発表を聴いた参加者が自分も読んでみたいと思った本に投票してチャンプ本を決めるイベントです。バトル参戦者はもちろん、運営にあたるライブラリーサポーター(学生スタッフ)の応募も待っています。

《編集後記》

本号の特集は、「The Appealing UK」です。イギリスの魅力の一つとして、英語を学ぶ人にとって馴染みの深いマザーグースを取り上げました。マザーグースにちなんだ言い回しは、子どもの頃に親しんだ『不思議の国のアリス』『メリー・ポピンズ』などの童話、「きらきら星」「メリーさんの羊」などの童謡にも引用されています。改めてマザーグースに関心を持ち、知識を広げることで、より深い英米文化の理解につながることを期待して、本号をお届けします。

次号は4月発行予定です。なお、本号発行にご協力くださった方々に感謝申し上げます。

図書館学術情報センター運営委員会

* 利用案内は図書館学術情報センターのホームページの開館カレンダー及び利用ガイドをご覧ください。

The Top Shelf

第7号

2017年10月発行

関西外国語大学図書館学術情報センター
<http://library.kansai-gaidai.ac.jp/>

[中宮キャンパス]

〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16-1
 TEL (072) 805-2801 (代)

[学研都市キャンパス]

〒573-0195 大阪府枚方市穂谷1丁目10-1
 TEL (072) 858-0021 (代)